

平成28年度
事業実施報告書

新潟市南区社会福祉協議会

平成 28 年度 新潟市南区社会福祉協議会事業報告書

【概 要】

少子高齢化や核家族化の進行、人口の減少、地域のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境の変化により、社会的に孤立や複合的な課題を抱える世帯や個人が増えています。

このような中、社会福祉協議会としても、アクションプランの検証を踏まえ個別と地域の支援を一体的に進め、地域の受容力を高め地域で誰もが安心して暮らすことのできる支えあいのまちづくりを推進してきました。

今年度、地域包括ケアシステムの構築に向け、第 1 層の協議体では地域における社会資源の確認や買い物支援の検証を実施し地域の現状把握に努めました。また、第 2 層の立ち上げに協力し、南区内の協議体設置を目指しました。

この他に、多職種との協働・連携やボランティア活動支援、災害ボランティアセンター設置訓練など、積極的に地域福祉の推進に取り組んできました。

以下、平成 28 年度事業の実施状況について次のとおり報告します。

【事業実施状況】

《重点目標》

1. 協議体への積極的な参画

南区における地域の一体的な生活支援・介護予防サービス提供の体制整備を推進していくため、生活支援等サービスの提供体制構築に向けた、南区第1層支え合いのしくみづくり会議（以下「協議体」という）の事務局並びに支え合いのしくみづくり推進員（以下「SC」という）を受託しました。

第1層は3回の会議を開催し、第2層については、支え合いのしくみづくりについての勉強会の開催に協力しました。

また、新潟市地域包括ケア推進モデルハウスの設置に向け、第1層協議体の構成員や関係諸団体から情報提供を求めるとともに、協議体構成団体の会員に対して地域包括ケア推進についての説明を行うとともに、ボランティア等の協力のお願ひについても行いました。

公益財団法人流通経済研究所と南区健康福祉課との協働で、南区における高齢者世帯（単身者を含む）の食料品の買い物に関する調査を行い、報告書としてまとめました。

○南区第1層支え合いのしくみづくり会議開催状況

	開催日	主な内容
第1回	平成28年 6月22日(水)	1) 説明 第1層協議体の事務局とSCの受託について 2) 挨拶 事務局とSC受託と今後の協力のお願ひ 3) 構成員の追加と委員の交代について 4) 支え合いのしくみづくり会議の役割について *地域包括ケアシステムの構築の背景について *協議体とSCの役割について *協議体や会議の進め方について 5) モデルハウスについて 事業説明と情報提供のお願ひ 6) 今年度のスケジュールについて
第2回	平成28年 8月30日(火)	1) 第1層構成団体紹介カードについて 2) 南区第2層協議体について 9月5日第2層協議体構成員の勉強会 (協議体とSCの役割について) *SCにふさわしい人がいれば、情報提供のお願ひ 3) 地域包括ケア推進モデルハウス事業について

第3回	平成29年(木) 1月19日	1) 新潟市南区食料品の買い物に関する調査結果について 2) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みについて 3) 事務連絡 *天昌堂サロンのPRとトイレの設置についての お願い *地域の中で支え合いのしくみづくり推進員と事務局候補について情報提供のお願い 4) 地域包括ケア推進モデルハウス「天昌堂サロン」 視察&昼食会
-----	-------------------	--

○南区第2層支え合いのしくみづくり会議開催状況

【白南・白根第一圏域、臼井・白根北圏域、味方・月潟圏域】

	開催日	主な内容
第1回 (3圏域)	平成28年 9月5日(月)	1) 新潟市・南区の現状 2) 講演「支え合いのしくみづくり及び第2層協議体の役割について」 3) 講評・まとめ

【白南・白根第一圏域】

	開催日	主な内容
第2回	平成28年 10月26日(水)	1) 支え合いのしくみづくり推進員及び事務局候補の紹介 2) 講話・グループワーク「足りないサービスをどのように創り出すか」
第3回	平成28年 11月30日(水)	1) 講話・グループワーク「足りないサービスをどのように創り出すか(その2)」 2) 講評・まとめ
第4回	平成28年 12月26日(月)	1) 講話・グループワーク「足りないサービスをどのように創り出すか(その3)」 2) 講評・まとめ

【臼井・白根北圏域、味方・月潟圏域】

	開催日	主な内容
第2回	平成29年 1月23日(月)	1) これまでの経緯説明、南区他区の2層進捗について 2) 各圏域2層構成員の意見交換・質疑・課題出し
第3回	平成29年 2月27日(月)	1) 事務局及び推進委員の選定について

2. 見守り活動の支援

(1) 昼食・配食サービス事業、友愛訪問事業及びおせち宅配事業の実施

1 2 地区社会福祉協議会の地域福祉事業と連携を図り、地域の要援護者への昼食会、配食サービス、友愛訪問活動（安心箱配布事業）及びおせち宅配事業を実施しました。

区社協名	実施団体（協力団体）	昼食会・配食サービス対象者数	安心箱配付・訪問回数	おせち配食世帯数
新飯田地区社協	地区社協、民生委員	—	16（フォローアップ°訪問含む）	12
茨曾根地区社協	地区社協、民生委員	98 3 回配食	38（フォローアップ°訪問含む）	10
庄瀬地区社協	地区社協、民生委員	32 （配食）	40（フォローアップ°訪問含む） 50（友愛訪問）	37
小林地区社協	民生委員	43 （昼食会）	120（フォローアップ°訪問含む） 58（歳末慰問）	28
臼井地区社協	地区社協、民生委員	38 （配食）	107（新規、フォローアップ°訪問を含む）	25
大郷地区社協	地区社協、民生委員	85（配食） 2 回配食	221（新規・フォローアップ°訪問含む）	17
鷲巻地区社協	地区社協、民生委員	108 （配食）	22（フォローアップ°訪問含む）	17
根岸地区社協	地区社協、民生委員	182 （昼食会・茶の間の交流含む）	24（新規・フォローアップ°訪問含む）	20
大通地区社協	地区社協、民生委員	38 （昼食会）	138（新規、フォローアップ°含む）	31
白根地区社協	地区社協、民生委員	416 （昼食会・配食）	—	188
味方地区社協	民生委員	—	—	43
月潟地区社協	民生委員	—	111（新規、フォローアップ°訪問含む）	47
合 計		1,040 人 (1,297 人)		475 食 (453 食)

※（ ）内は前年度数

（２）緊急情報キット配付事業の実施

高齢者や障がいのある方などの緊急時に備え、連絡先やかかりつけ医、持病等を記載した用紙をボトルに入れて冷蔵庫で保管しておくための緊急情報キットを地区社協、民生委員、自治・町内会長様の協力のもと配布しました。

地区名	単身高齢者	高齢者のみ	身体障がい者	知的障がい者	その他	有償	合計（本）
新飯田	1	0	0	0	0	1	2
茨曾根	2	2	0	0	0	0	4
庄 瀬	3	1	0	0	0	0	4
小 林	1	2	1	0	0	0	4
臼 井	8	2	0	0	0	4	14
大 郷	0	0	0	0	0	0	0
鷲 巻	0	0	0	0	0	0	0
根 岸	2	0	0	0	0	0	2
大 通	1	1	1	1	1	0	5
白 根	11	4	0	0	1	0	16
味 方	0	0	0	0	0	0	0
月 湯	2	4	0	0	0	0	6
施 設	0	0	0	0	0	0	0
合 計	31	16	2	1	2	5	57

* 27 年度末までの合計配布数 804 本（うち 119 有償）

（３）地域での見守り活動のための回覧板作成

回覧板を作成し、身近な小単位の見守り活動の促進を図りました。

作成数 : 5 地区（1,224 冊）

3. ネットワークづくり

（１）CSW（コミュニティソーシャルワーカー）

関係機関と情報共有、連携し個別に支援が必要な世帯が住み慣れた地域で生活できるよう継続的に関わっています。個別支援から地域での課題を見つけ、関係機関と連携し社会資源を取り入れながら、地域全体で課題解決に向けて取り組んでもらえるよう支援していきます。

また、毎月定例会を開催し、関係機関と情報共有しながら個別支援の検討会を実施しました。

（２）南区保健医療福祉のつながりを深める会（共催）

南区社協として、多職種との連携・協働に参画し、住民が「住み慣れた南区で生活を継続するために何が必要なのか」について勉強会を実施しました。

<実施状況>

開催日	場所	内容
9月3日（土）	サルナート吉運堂	<p>《基調講演》</p> <p>「地域包括ケアシステムの植木鉢」それぞれの機能と予防について考える 講師：新潟県医師会 副会長 吉沢浩志 氏</p> <p>《実践発表》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション ・市運動普及推進員 ・認知症専門デイサービスセンター <p>《ワークショップ》</p>
2月5日（日）	ラスペックホール	<p>《講演》</p> <p>「地域に寄りそ医 20 年」講師：おおい町国保 名田庄診療所 所長 中村伸一 氏</p> <p>《報告》</p> <p>「南区在宅医療の体制について」講師：田邊医院 医院長 田邊 肇 氏</p>

4. サロン支援

（１）ふれあい・いきいきサロン（地域のお茶の間活動）、子育てサロンの育成と支援

高齢者や子育て中の方々など地域のさまざまな人たちの孤立防止、地域の助け合いの意識醸成を目的に、自治会・町内会などの小地域が主体で仲間づくりや多世代交流事業を実施する「いきいきサロン」「地域の茶の間」活動に助成しました。また、地域住民が自発的に参画し、より創意工夫に富んだ活動が展開できるよう、サロン等の立上げ支援を行いました。

○ふれあい・いきいきサロン・子育てサロンの実績

地区名	サロン数					地区名	サロン数						
	高齢者			子育て			高齢者			子育て			
	市助成		その他	区協成	社助		その他	市助成		その他	区協成	社助	その他
	A	B						A	B				
新飯田	1		1	1		鷲 巻	1		1				
茨曾根	2		3			根 岸			2				
庄 瀬			1			大 通	3						
小 林	4	1	1			白 根	7	2		1			
臼 井	2		2	1		味 方	6	2	1	1			
大 郷	1			1		月 潟	4	1		1			
市の助成数：A タイプ 31 ケ所 B タイプ 6 ケ所						合 計	49 (53)			6 (9)			

※（ ）内は前年度数

○交流会・研修会の開催

事業名	開催日・場所	内容・参加者
子育てサロン交流会	12月19日（月） Mama's café rapport	意見情報交換、会食、助成金、ボランティア保険について 参加者：親子10組 （子ども／4人・大人／10人）
子育てサロン交流会	3月22日（水） 白根カルチャーセンター 柔道場	親子ヨガ、意見情報交換、助成金及びサロン紹介について 参加者：講師1名、親子7組 （子ども／5人・大人7人）

5. ボランティアの育成と活動支援

ボランティア活動に参加したい方、ボランティアを必要とする個人・団体・福祉施設等からのボランティアに関する多様な相談に応じ、必要な情報提供や調整、ボランティア登録、ボランティア保険の加入手続き等ボランティア・市民活動に関する支援を行いました。

また、地域のニーズに合ったボランティアの育成を行うためきっかけ作り講座を開催し、新しい団体の立ち上げ支援を行いました。

子どもだけでなく大人を対象に福祉体験を行うことで、福祉教育の在り方を考えるきっかけを作りました。

(1) ボランティアセンター事業の推進

○ボランティアグループ数、人数

区分	高齢者福祉関係	障がい者福祉関係	児童福祉関係	病院/施設関係	視覚障がい者支援	聴覚障がい者支援	地域活動その他	災害関係	計
団体数	10	3	7	10	1	1	23	1	56
所属人数	140	61	65	162	15	20	407	43	913
個人人数	3	1	1	4			1	2	12

○ボランティア保険加入

活動保険（人）	行事保険（件）
643	595

○ボランティア相談・ニーズ

相談件数（件）

ボランティア したい(a)	ボランティア 欲しい(b)	情報提供 したい	情報 欲しい	計
25	54	62	25	166

○災害関係

地域におけるボランティアセンターのあり方を地域住民に理解してもらうため、南区の一斉防災訓練の日に合わせて白根高校を会場に開催しました

区分	H28	H27	H26
設置訓練参加者数（人）	83	59	50

<実施状況>

開催日	場所	参加団体	参加者数
11月2日	南区社協	デイ皐月、味方、月潟、南、北包括、社協職員、白根 JC	8
11月6日	白根高校	白根 JC、日赤、白根ローターアクト、白根コミ協、南区安心安全係、白根高校、NSVN（にいがた災害ボランティアネットワーク）	83

（２）災害ボランティアネットワーク会議

有事の際の災害ボランティアセンターの運営を円滑に行うために、白根 JC を中心に災害ボランティアセンター検討委員会を立ち上げ概ね毎月 1 回検討会を開催しました。

区分	H28	H27	H26
検討委員会回数（回）	8	9	9
検討委員数（人）	11	11	13

<実施状況>

開催日	内容	参加委員数（人）
4 月 18 日	第 1 回新規メンバー顔合せ 28 訓練内容検討	7
5 月 16 日	28 年度訓練内容検討	7
6 月 20 日	28 年度訓練内容検討	11
7 月 19 日	28 年度訓練詳細打ち合わせ	10
9 月 20 日	28 年度訓練詳細打ち合わせ	6
10 月 17 日	28 年度訓練役割分担	10
11 月 21 日	28 年度訓練反省会	7
3 月 27 日	白根 JC メンバー交代、	10

（３）ボランティア講座・交流会

ボランティア活動のきっかけとなるために、講座を開催。既存の団体の会員確保も目的とする。 ボランティア同志の情報共有の場として交流会を開催しました。

区分	H28	H27	H26
ボラ講座参加者数（人）	118	106	119
新規ボラ団体設立（団体）	0	1	1
交流会参加者数（人）	99	139	129
施設研修会参加数（施設）	7	13	—

<実施状況>

事業名	参加者数（延べ人数）
ボランティアきっかけ作り講座 傾聴講座 2 回	24
おもちゃ病院見学会と研修会	8
こころの健康づくり講座 2 回	54
高齢期は食べ盛り（高齢者安心相談センター共催）	32
ボランティア・サロンお茶の間交流会	61
中学生ボランティア交流会	38
ボランティア受け入れ施設担当者研修会 （西、西蒲 3 区合同開催）	7 （南区のみ）

（４）福祉教育

小学校、中学校が高齢者、障害者の理解を深めるため体験学習や当事者との交流を加えた福祉教育を実施しました。

また、小学校では新たに防災に関する福祉教育も行いました。

大人のための福祉教育の一環として地域教育コーディネーター、ボランティア、ボランティアコーディネーターなどの大人がブラインドサッカーの体験を行いました。

区分	H28	H27	H26
福祉教育実施学校（校）	8	8	7
大人の福祉教育実施（回）	2	1	0

＜実施状況＞

対象	内容	回	参加者数 (延べ)
茨曾根小学校 5 年生	車いす体験、高齢者疑似体験	2	52
茨曾根小学校 5 年生	認知症サポーター養成講座	1	23
新飯田小学校 4 年生	車いす体験、アイマスク体験	2	26
大通小学校 3 年生	アイマスク体験、車いす体験	2	132
大通小学校 3 年生	ブラインドサッカー体験	1	66
小林小学校 4 年生	手話体験	1	30
月潟小学校 4 年生	車いす体験、高齢者疑似体験	2	54
味方小学校 4 年生	車いす体験、高齢者疑似体験、アイマスク体験	3	111
味方小学校 4 年生	認知症サポーター養成講座	1	37
味方小学校 4 年生	災害に関する講座	1	37
白根北中学校 1 年生	視覚障害者との交流、アイマスク体験	1	120
月潟中学校 3 年生	講話「ボランティアとは」「地域の現状について」	1	23
白根ローターアクト	車いす体験	1	4
地域教育コーディネーター・ボランティア	ブラインドサッカー体験	1	15

○南区ボランティア・市民活動センターだよりの発行

平成 29 年 3 月発行 500 部作成

ボランティア団体、個人、サロン、施設、学校、その他関係先に配布

6. 区社協の組織、基盤の強化

(1) 理事会の開催状況

区 分	開催日・場所	協 議 題
第1回理事会	平成28年5月25日 南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・南区社会福祉協議会理事の一部選任について ・平成27年度南区社会福祉協議会事業実施報告について ・平成27年度南区社会福祉協議会収支決算について 監査報告
第2回理事会	平成28年9月6日 南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・南区健康福祉フェア2016並びに第10回南区社会福祉大会について ・第10回南区福祉大会被表彰者等の選考について ・市社協会長表彰被表彰者の推薦について
第3回理事会	平成28年12月27日 南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・役員の一部選任について ・平成29年度南区社会福祉協議会重点事業について ・南区社会福祉協議会役員改選に伴う推薦依頼について
第4回理事会	平成29年3月9日 南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度南区社会福祉協議会事業計画（案）について ・平成29年度南区社会福祉協議会収支予算（案）について ・南区社会福祉協議会役員の改選について ・南区自治協議会委員の推薦について ・新潟市社協評議員の推薦について

(2) 監事会の開催

区 分	開催日・場所	監 査 事 項
監 事 会	平成28年5月17日 南区社会福祉協議会 1階相談室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度南区社会福祉協議会事業実施報告について ・平成27年度南区社会福祉協議会収支決算について

(3) 会員会費の納入状況(目標額：1世帯500円)

地区名	世帯数	納入世帯	納入率	納入金額(円)
新飯田	478	478	100	239,000
茨曾根	414	412	99.5	206,000
庄瀬	644	642	99.7	321,000
小林	1,188	996	83.8	498,000
臼井	953	817	85.7	408,500
大郷	466	433	92.9	216,400
鷺巻	520	496	95.4	248,000
根岸	1,142	994	87.0	497,000
大通	2,131	2,023	94.9	1,011,500
白根	3,595	2,934	81.6	1,496,100
味方	1,265	995	78.7	496,250
月潟	1,140	954	83.7	476,900
合計	13,936 (13,964)	12,174 (12,206)	87.4 (87.4)	6,114,650 (6,102,610)

※()内は前年度数値

(4) 法人等の賛助会員数と実績額の状況

個人 125人 94,500円 (128人 88,500円)
法人 21社 125,000円 (21社 125,000円)

7. 住民参加・協働による地域福祉の推進

(1) 南区地域福祉活動計画の推進

○新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会

平成27年度南区アクションプラン第2期目(平成27年度～32年度までの6年間)の計画を推進するため、「児童・子育て支援」「障がい福祉」「高齢者福祉・介護者支援」及び「地域づくり」の4分野別及び地区ごとの活動計画の評価並びに分科会を開催し、目標達成のための「現状と課題」「取り組みの方向性・内容」について推進委員で検討しました。

回	期日・会場	主 な 内 容
1	8 月 4 日 白根健康福祉センター 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度南区地域福祉アクションプラン評価について ・「にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金」審査結果について
2	2 月 16 日 白根健康福祉センター 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金活動報告 ・平成 29 年度南区アクションプラン分野別計画の取り組みについて ・地区別計画の取り組み状況について（各地区推進委員から報告）

（２）地区社会福祉協議会の育成と活動支援

○地区社会福祉協議会長・地域生活センター職員合同会議

期 日	場 所	協議内容
平成 28 年 8 月 8 日	南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度地区社会福祉協議会活動推進事業について ・平成 28 年度地区社会福祉協議会交付金について ・社協会費、共同募金及び歳末たすけあい募金について ・支えあいのしくみづくり第 1 層協議体の状況について ・南区社会福祉協議会業務依頼について ・第 10 回南区社会福祉大会被表彰者等の推薦について

○地区社協活動支援

各地区社協で行っている地域の課題に対応した事業に、事業費助成など様々な支援を行いました。

（３）コミュニティ協議会との連携・協働

地区社協の福祉事業がコミ協と協働して実施されるなど、地域福祉の事業推進についてコミ協との連携を深めながら、より一層の地域福祉の向上、育成に努めました。

8. 広報・啓発活動の実施

（１）広報「区社協だより」の発行

広報誌名・No.	発行日	掲載内容
区社協だよりみなみ 第 32 号	平成 28 年 7 月 10 日	平成 28 年度事業計画・予算、平成 27 年度事業・決算報告、社協会費納入のお願い、南区社協各事業所紹介、ボランティア伝言板、心配ごと相談所開設日のお知らせ、共同募金実績報告、南区健康福祉フェアアトラクションの公募ほか

区社協だよりみなみ 第 33 号	平成 28 年 9 月 25 日	南区健康福祉フェア・南区社会福祉大会のお知らせ、共同募金運動について、賛助会員企業、サロン・お茶の間一覧、ボランティア伝言板、雪援体メンバー募集、茨曾根徘徊模擬訓練のご案内、支え合いのしくみづくりほか
区社協だよりみなみ 第 34 号	平成 29 年 2 月 19 日	寄付御礼、各表彰、中学生ボランティア交流会、H29 年度ボランティア個人・団体登録募集、平成 28 年度共同募金法人募金実績報告、地域の茶の間・いきいきサロン事業について、茨曾根徘徊模擬訓練の報告ほか
区ボランティア・市民 活動センターだより No.2	平成 29 年 3 月	ボランティアきっかけ作り講座、おもちゃドクター講座の募集、ボランティア団体の活動紹介、平成 29 年度各講座予定

（２）南区社会福祉大会並びに健康福祉フェアの開催

南区社会福祉大会並びに南区健康福祉フェアを開催し、福祉と保健が一同に会し、相互に連携を深め、民間福祉事業、ボランティア活動並びに健康づくり活動が向上、普及するために、地域の活動団体と区民の交流、社会参加の実現が図られました。

開催日/会場	内 容
平成 28 年 10 月 1 日（土） 白根学習館 約 720 名（約 850 名） （ ）内は前年度数値	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉バザー、介護事業所等のパネル・作品展示、試食や健康コーナー等の開催 ・記念講演「昔話を聞いてほっこりしましょう」 東北民話の語り部 日野敏子 様 ・第 10 回社会福祉大会 会長表彰式 臼井中学生による意見発表

9. 総合的な相談事業、援助活動の実施

（１）ふれあい相談センターの機能強化

毎月第 2・第 4 水曜日に心配ごと相談所を開設。心配ごとや困りごとの相談に対し、適切な助言指導を行い、相談者の心配ごとを解消して相談の問題解決に努めた。法律の専門相談は実績なし。相談員は、本部並びに南区社協主催の相談員研修会に参加し、研鑽された。

[心配ごと相談所相談件数]

	H28	H27	H26
開催日数（回）	24	24	24
相談件数（件）	2	6	7

[研修会]

本部研修会

日時・会場	内容	参加人数（人）
9月8日 市総合福祉会館	・障がい者機関相談支援センターについて ・講話「日々の願いに生かされて」 真宗大谷派住職 栃倉 南雄 様	7
12月1日 市総合福祉会館	・全国社会福祉協議会研修会報告 ・講義「悩み、心配ごと相談ーよく聞くということ」 新潟中央短期大学学長 石本 勝見 様	9
3月10日 市総合福祉会館	・人生いろいろよろず相談 Part6 弁護士 斉木 悦男 様	8

区研修会

日時・会場	内容	参加人数（人）
2月22日 南区社協会議室	・講話「心配ごと相談員の役割について」 新潟市社会福祉協議会 福祉相談支援課 川瀬 正之 様	10

（２）社会福祉資金貸付制度の推進

低所得者、高齢者、障がい者等の世帯に対してその自立と生活の安定のため、目的に応じた生活福祉資金を貸し付けました。また低迷する経済情勢を背景に収入の減少や失業等によって生活に困窮した世帯には総合支援資金を貸付け生活の立て直しを支援しました。

[新規貸付件数]

資金名		平成 28 年度 (件)	平成 27 年度 (件)	平成 26 年度 (件)
生活福祉資金	福祉資金	0	0	0
	教育支援資金	0	0	0
	災害援護資金	0	0	0
	総合支援資金	0	0	0
	緊急小口資金	0	0	0
	不動産担保型生活資金	0	0	1
離職者支援資金		0	0	0
合 計		0	0	1

（３）日常生活自立支援事業の推進

日常生活に悩みや不安のある認知症の高齢者、知的障がいや精神障がいのある方が、地域で安全、安心した生活を送れるよう関係機関と連携し権利擁護のサービスの提供に努めました。

契約件数（件）	サービス利用者数（件）	契約終了件数（件）
9（0）	9（12）	5（1）

※（ ）内は前年度数値

１０．共同募金事業の推進

[平成 28 年度赤い羽根共同募金並びに歳末たすけあい募金実績額]

区 分	平成 28 年度 目標額	平成 28 年度 実績額	達成率	平成 27 年度 実績額	対前年比較
共同募金	7,255,000 円	7,027,042 円	96.9%	7,247,167 円	△220,125 円
歳末募金	2,379,000 円	2,745,810 円	115.4%	2,834,814 円	△89,004 円
合 計	9,634,000 円	9,772,852 円	101.4%	10,081,981 円	△309,129 円

[赤い羽根共同募金の募金別内訳]

募金種別	募金額	割合
戸別募金	5,777,622 円	82.2%
法人募金	822,141 円	11.7%
学校募金	225,745 円	3.2%
街頭募金	6,996 円	0.1%
職域募金	124,133 円	1.8%
イベント募金	15,806 円	0.2%
その他募金	54,599 円	0.8%
合 計	7,027,042 円	100.0%

[歳末たすけあい募金の募金別内訳]

募金種別	募金額	割合
戸別募金	2,642,150 円	96.2%
職域募金	103,660 円	3.8%
その他募金	0 円	0.0%
合 計	2,745,810 円	100.0%

1 1. 市受託事業の推進

(1) 福祉バス運行事業の推進

南区の福祉団体や、老人福祉センター白寿荘-憩いの家楽友荘-憩いの家月寿荘を利用する高齢者や障がい者に対し、交通の利便性を図るため福祉バスを運行しました。

*10月よりバス運転業務のみ受託

利用状況	年間運行回数・年間延べ利用者数
・月曜日を除きほぼ毎日運行	197回・2,379人
・水曜、木曜は味方・月潟地区を巡回	(210回・2,739人)

※（ ）内は前年度数値

(2) 生きがい対応型通所事業

高齢者の閉じこもり防止、介護予防や健康増進を図ることを目的として、健康体操やレクリエーション等を提供することで、生きがいづくりと社会参加を促し、社会的孤立感の解消と自立した生活を支援しました。

会 場	開設曜日	開設日数	延べ利用者数	内 容
白根健康福祉センター 2階	火～土曜日	241日	1,800人	・ゲーム、歌、折り紙、 ・レクリエーション、輪投げ ・健康づくり体操

(3) 元気力アップ・サポーター事業

高齢者が介護施設などでのサポート活動を通じ、高齢者の社会参加を促進し、健康増進や介護予防及び地域の活性化を目的とした事業です。受入協力機関として指定された施設・事業所等でサポート活動を行った場合に、年度ごとに活動実績をポイントとして評価し、ポイント数に応じて、サポーターの申請により、交付金として還元するものです。当該制度が円滑に運営できるように、研修会の開催、受入施設へのコーディネートのほか、サポーター交流会を開催し、研修・交流を行ないました。

区 分	説明会		サポーター登録者数(人)	登録施設数(施設)
	開催数 (回)	参加者数 (人)		
H28年度	3	7	18	7
累 計	34	143	142	41